



元氣とタイムリーな情報を提供する

# 五十嵐レポート

発行:「町コン」五十嵐 勉 2026年07月27日 第1277「週刊五十嵐レポート」

## こだわり

7月24日付日経新聞、「(探訪ググッと首都圏)チョコ、OEMは200社超 ベルギー産にこだわり」という記事。千葉県八街市で高級チョコレート・菓子を製造するグランプラスは、ベルギー産チョコを使い一流ホテルやファッションブランドの商品をOEM(相手先ブランドによる生産)供給している。自社ブランドも展開し、職人の技と機械工程を組み合わせた工場からこだわりの一粒一粒を生み出す。

会社設立は1991年。一貫してベルギー産のチョコにこだわり、そのおいしさを日本国内で広めてきた。品質への評価は高く、高級ブランド、一流ホテル、有名パティシエら委託先は200社を超える。売上高約15億円のうちOEMが約7割を占める。

ネット通販等で自社ブランドの商品も販売。東京・浜松町に直営店「グランプラス浜離宮」がある。バレンタインシーズンには百貨店などの催事に出店。八街市の工場には直売所を併設、形状不良や賞味期限の短いB級商品を販売。

中小企業が学ぶ点。

1. 「なんでも」ではなく「チョコレート1本」。徹底的に専門分野に特化。
2. ベルギー産にこだわる。価格競争ではなく、品質競争をしている。
3. OEMで安定収益を確保。OEMを持つことで工場が安定的に稼働。
4. 自社ブランドも育てる。OEMだけでは利益率が低くなる。ネット販売や直営店で自社ブランドを育成。OEM+自社ブランド。
5. B級品も利益に変える。工場直売所で形が少し悪い、賞味期限が短い商品を販売。食品ロスを減らし利益を確保。

グランプラスはチョコレート、ベルギー品質、OEM、職人技、セミハンドメイドという強みを何十年も磨き続けている。

会社の強みは何か。価格競争に巻き込まれないためにはどうするか。多くのヒントが隠されている。

ちょっと  
気になる出来事

7月22日付日経新聞、「雑踏 過密、AIで防ぐ」という記事。

イベント会場などの雑踏警備に人工知能(AI)を活用する動きが広がっている。過度な混雑が起きる前に兆候を捉え、警備員の配置や誘導にいかす。花火大会の見物客らが密集し11人が亡くなった兵庫県明石市の歩道橋事故から21日で25年。警備関係者は「悲劇を繰り返さない」と誓う。

近年は警備の精度向上に加え、警備員らの負担軽減や人手不足を補う狙いもあってAIを活用する動きが広がる。

カメラで人流を撮影→AIが人数・密度・流れを解析→混雑の兆候を検知→警備員へアラート→LED表示を自動変更→人を別ルートへ誘導→混雑が解消

重要なのは、事故が起きてからではなく、起きる前に動く。「経験」から「データ」へ。昔の警備はベテラン警備員の経験勘「今日は混んできたな」という感覚で判断。これを人の密度、歩行速度、滞留時間、人流の方向など数値化。つまり経験をデータへ変換した。

この「AI警備」は山梨県の企業KB-eye(2018年設立)。



一口メモ  
知識

人はまだ優れるに至っていない

成果をあげる人とあげない人の差が、才能ではない。いくつかの習慣的な姿勢と、基礎的な方法を身につけているかどうかの問題である。

しかし、組織というものが最近の発明であるために、人はまだこれらのことに優れるに至っていない。

(「非営利組織の経営」より)

ドラッカー名言集 仕事の哲学(ダイヤモンド社)より

●「戦略社長塾東京」小岩校 毎週日曜日・水曜日 午前10時~12時

●「戦略社長塾東京」銀座校、武蔵村山校、豊岡校 開講中。

㈱五十嵐コンサルティングオフィス 〒133-0051東京都江戸川区北小岩6-21-5

TEL03-3659-7703 Fax03-3659-7077 info@igarashireport.com

